

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

6 項 防災費

防災チーム (内線 : 7 8 7 3)

1 目 防災総務費

(単位 : 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫 支出金	起債	その他	一般 財源	
鳥取県西部地震から 1 0 年事業	12,145	9,528	2,617			1,700	10,445	
トータルコスト	29,895 千円 (前年度 24,441 円) [正職員 : 2.2 人、非常勤職員 0.3 人]							
主な業務内容	鳥取県西部地震 1 0 年目に係る催し、住民参加型防災訓練							
工程表の政策目標 (指標)	県民の防災意識の向上							
事業内容の説明								
1 事業概要								
鳥取県西部地震の発生から 1 0 年目にあたる平成 2 2 年 1 0 月 6 日を中心として、9 月及び 1 0 月を地震防災強化月間 (仮称) と位置づけ、次の事業を実施するほか、県、市町村、関係機関が連携して、地震防災対策を強力に推進する。								
(1) 鳥取県西部地震から 1 0 年目フォーラム								
ア 月日 1 0 月 6 日 (水)								
イ 場所 米子コンベンションセンター又は日野町文化センター								
ウ 内容 専門家の講演、被災者の体験談、学校での防災教育の報告、自主防災組織知事表彰など								
(2) とっとり防災フェスタ								
ア 月日 1 0 月 1 7 日 (日) (予定)								
イ 場所 米子市市街地								
ウ 内容 県民が楽しく参加、体験できる要素を盛り込んだ総合的な防災訓練								
2 事業費								
鳥取県西部地震から 1 0 年目フォーラム 2, 4 1 7 千円								
とっとり防災フェスタ 9, 7 2 8 千円								
3 防災教育の実施								
一過性の事業で終わらないよう、西部地域内の学校をモデルに防災教育を実施し、次世代を担う子どもたちに鳥取県西部地震を伝えるとともに、その指導に当たる教職員の養成や、保護者、地域住民等の連携、交流の促進に取り組む (実施に当たっては、その指導を大学に委託)。								
4 これまでの取り組み状況、改善点								
とっとり防災フェスタは、これまでの総合防災訓練を住民参加型の防災訓練に変更し、平成 2 0 年度は鳥取市若桜街道で約 2 万人、平成 2 1 年度は倉吉市白壁土蔵群周辺で約 1 万 2 千人の県民が参加した。								
平成 2 2 年度は、鳥取県西部地震発生から 1 0 年目に当たるため、各種の取組と連携し、準備作業の地元との分担、アウトソーシングを図り、効率的な実施に努める。								